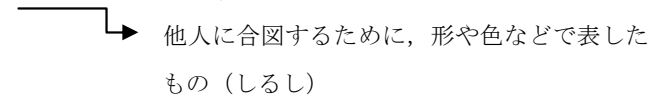
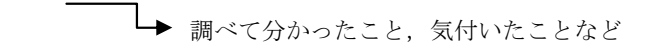


1 ねらい

「身の回りの記号について調べ、報告する文章を書こう」という単元のめあてを設定し、学習の見通しをもつことができる。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
15分	1 身の回りにある記号や知っている記号について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「記号」とは何か，確認する。   </li> <li>・教科書の絵を参考にして，どんなところでどんな記号を見たことがあるか経験を引き出す。</li> <li>・前もって集めていた記号を紹介させる。</li> </ul>
10分	2 単元のめあてをつかむ。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     みのまわりの記号について調べ，ほうこくする文章を書こう。                 </div>	
15分	3 活動の流れを見通し，学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習でできるようになったことを確かめる。（書く）</li> <li>・「ほうこくする文章」について，説明を加える。</li> <li>・何を報告するのか，確認する。   </li> <li>・相手意識や目的意識をもたせて，活動への意欲を引き出す。</li> <li>・p.54の初めの文章やp.55の「学習の流れ」を活用する。</li> </ul>
5分	4 ふり返りをして，次時への見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあてや学習計画に立ちもどり，次時のめあてにつなげる。</li> </ul>

3 評価

身近な記号に興味をもち，調べて報告する文章を書くためにどんな活動をするのか，学習の見通しをもっている。（発言，ノート）